

株主のみなさまへ

..... Vol.36

株主通信  
第106期

2012年1月1日～  
2012年12月31日



SHIMANO

表紙：2012年11月28日にオープンしたOVE中之島の店内風景

SHIMANO



代表取締役社長 島野 容三

## 事業の経過および成果

当連結会計年度におきましては、海外では欧州の政府債務問題の一層の深刻化と米国の財政の崖による消費後退懸念が強まり、特に年後半は先進国・新興国の双方の成長速度が鈍化することとなりました。

また、国内におきましては、東日本大震災に伴う復興需要を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、為替相場が円高基調で推移したことや電力供給不安などから、企業を取り巻く環境は総じて厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてみたい。

この結果、当連結会計年度の売上高は245,843百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は40,961百万円（前年同期比29.0%増）、経常利益は39,539百万円（前年同期比24.7%増）、当期純利益は27,487百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

## 自転車部品

主力市場である欧州市場では暖冬、春先の天候不順、7月後半からの好天と目まぐるしい変化がありましたが、年間としては小売店ではほぼ前年並みの販売を維持することができました。北米市場では、暖冬と安定した春の天候による好調な販売はその後一段落したものの、前年以上の販売を維持しました。また、昨年来大きく伸びた中国におけるスポーツタイプ自転車市場は、前年ほどの成長の勢いはなくなったものの、引き続き安定した伸びを維持した結果、前年を上回る販売を達成しました。そして、東南アジア、南米においては、インドネシアで天候不順と景気の影響で一服感があったものの、総じてスポーツタイプ自転車の需要は伸びました。一方、日本での小売店販売は、低調に推移しています。

このような市場環境のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、第2四半期に投入したマウンテンバイクコンポーネントの「SLX」やロードバイクコンポーネントの「SORA」、「Tourney A070」、続いて第3四半期に投入したロードバイクコンポーネント最高峰の「DURA-ACE」、トレッキングバイクコンポーネント「Deore LX」をはじめとする新製品はご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は198,190百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は39,012百万円(前年同期比30.2%増)となりました。

## 釣具

国内市場では、例年にない大雪・寒波の影響で動きの鈍いスタートとなるとともに、6月としては8年ぶりに台風が日本列島に上陸し、また夏場にも記録的な大雨や大型台風に見舞われるなど天候不順が続きました。秋には釣物に恵まれ一時的に小売店販売が持ち直した時期もありましたが、一年を通じて厳しい状況でありました。しかしながら、当社製品においては、電動リール、高級スピニングリール、ルアー釣り用ベイトキャストイングリールなどの新製品がご好評をいただきました。また、ルアー釣り関係のご注文が一年を通じて堅調であったこともあり、前年同期を上回る売上を上げることができました。

一方、海外市場では、一年を通じて円高の影響を受けたこと、加えて北米での猛暑やハリケーンなどによる被害、欧州での政府債務問題による景気後退の影響を受けたことなどにより厳しい状況が続きました。しかしながら、豪州地域での販売が継続して好調に推移したこともあり、全体としては売上を伸ばしました。

この結果、当セグメントの売上高は47,234百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は2,274百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

## その他

当セグメントの売上高は419百万円（前年同期比27.6%減）、営業損失は326百万円（前年同期は営業損失363百万円）となりました。

## 期末配当のご報告

当社グループは、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、

業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の期末配当金につきましては、前年同期から7円増配の1株当たり37円50銭（うち特別配当31円25銭）とさせていただきます。これにより、当期の年間配当額は、前期から14円増額の1株当たり75円となりました。

## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、先進国では欧州の政府債務問題において、ようやく支援策を巡ってEU各国がテーブルにつきつつあるものの、経済は依然低迷から脱せない状況です。また、米国においても財政政策運営の先行き不透明観が拭いきれず、消費回復には懐疑的にならざるを得ません。新興国では、主要輸出国である欧州の景気低迷が中国やASEAN諸国に深刻な影響を与えており、今後もこの状況が続くものと予想されます。

また、国内におきましては、緊急経済対策による景気浮揚効果や消費税率引き上げ前の駆け込み需要等により一時的に息をつくことも期待されるものの、長引く海外景気の低迷、先行き不透明な為替相場や電力供給不安などにより、依然として景気の下振れ懸念があります。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

以上により、平成25年12月期の売上高は255,000百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は43,000百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益は43,000百万円（前年同期比8.8%増）、また当期純利益は29,500百万円(前年同期比7.3%増)を予想しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

平成25年3月



**OVE中之島**

2012年11月28日、大阪・中之島に、さらなる自転車文化の創造を目指し「LIFE CREATION SPACE OVE（オーブ）中之島」をオープンしました。

シマノでは2006年、自転車文化の発展と、普段あまり自転車に乗らない方も含め、より多くの人に自転車の楽しさを知っていただく機会の提供を目的に「OVE南青山」を開設しました。このたびオープンした「OVE中之島」は、大阪の中心地であり、伝統と文化、そして芸術を継承する華やぎのある大人の街である中之島から、上質で魅力的なライフスタイルを提案し、そのライフスタイルに自転車を取り入れてもらうことを目指します。

〒530-0005  
 大阪府大阪市北区中之島2-3-18  
 中之島フェスティバルタワー  
 フェスティバルプラザ1F  
 Tel : 06-6223-2626  
 Fax : 06-6223-2627  
 OPEN  
 平日(火-金) 10:00-20:00  
 土・日・祝 10:00-20:00  
 \*月曜日定休(祝日の場合は火曜日振休)  
 \*イベント開催等により、営業時間は変更になる場合があります。  
 URL: <http://www.ove-web.com/>



**「OVE」に込めた思い**

「OVE」には、機会(Opportunity)、価値(Value)、気楽さ・容易さ(Ease)という理念とともに、“人々がこれまでの自分を超越えて魅力的なライフスタイルを探求していく(Over Myself)”という思いが込められています。

「OVE中之島」では、魅力的かつ上質なライフスタイルに合っ

**「OVE」のコンセプト**



**Opportunity(機会)**  
 自転車に関する相談を受けるコンシェルジュデスクの設置など、上質で健康的なライフイメージを共有する機会をお届けします。



**Ease(気楽さ・容易さ)**  
 大スクリーンムービーやオリジナルグッズの販売など、自転車を気軽に楽しめ、訪れた人の心を癒やす場を提供します。



**Value(価値)**  
 どこかへ行くという目的だけでなく、散歩感覚で気ままに自転車を愉しむOVEならではの「散歩」を通じて、新たな価値を創造します。

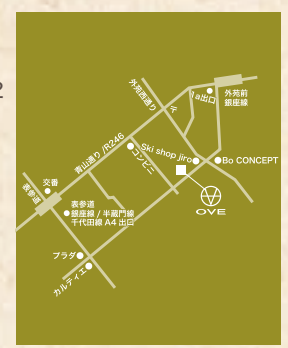


**Over Myself**  
 自転車に関する約300冊の蔵書があり、本の感想を「読み継ぎカード」に書き、次の人へつなぐといった、本を通じた知の出会いと交流の場を提供します。



今年でオープン8年目を迎えた「OVE南青山」。現在では周辺に自転車に関連した施設が数多く立ち並び、自転車文化の発信源として多くの人々に親しまれています。

〒107-0062  
 東京都港区南青山3-4-8 トレディカーサ1F  
 Tel : 03-5785-0403 Fax : 03-5785-0412  
 OPEN 10:00-19:00(L.O.18:00)  
 LUNCH 11:30-16:00  
 \*月曜日定休(祝日の場合は火曜日振休)  
 \*イベント開催等により、営業時間は変更になる場合があります。  
 URL : <http://www.ove-web.com/>  
 E-mail [info@ove-web.com](mailto:info@ove-web.com)



## 製品紹介

### ロードバイクコンポーネント DURA-ACE フルモデルチェンジ

数々の自転車レースシーンで栄光を勝ち得てきたDURA-ACEが、キーワードのConcentration(集中) Control (コントロール) Confidence (信頼)のもとにフルモデルチェンジ

レースに集中できること、思いのままに自転車を操れること、信頼できるコンポーネント—こうしたライダーの強い要求に応えるべく、機能をさらに発展させて登場したDURA-ACE 9000シリーズ。

駆動、回転、制御のシステムをもう一度見つめ直し、システムコンポーネントとして再設計。あらゆる走行条件に対応するべく、軽い変速操作を可能にするギアシステムと、思い通りにスピードをコントロールできるブレーキシステムを実現しました。

また、握りやすさや操作性をさらに高めたコントロールレバーや、11速化の実現、向かい風や横風に対応できるエアロダイナミクスを追求した車輪など、ライダーの理想を、全体の軽量化とともにさらに深化させました。

プロの選手に圧倒的な支持で迎えられ、数々のレースで選手が表彰台に上がりました。なかでも世界最高峰の自転車レースといわれるツール・ド・フランス2012では、当社スポンサーチームのウィギンス選手が総合優勝を飾りました。



当社スポンサーチームの選手達  
一番右がウィギンス選手

## 賞の獲得 .....

### ULTEGRA 6770がグッドデザイン賞受賞

電子制御で変速を行うロードバイクコンポーネントULTEGRA 6770が、2012年度グッドデザイン賞を受賞しました。

俊敏な変速操作を生み出すスイッチをシンプルかつコンパクトで手になじむ握り心地に改良するなど、幅広い層に向けた快適性を追求しました。

快適性がもたらす心地よい体験、そしてその先にある「所有する喜び」や「フィールドへ向かうモチベーション」を、その製品の形状や表面処理で表現し、お客様にお伝えすることが私たちのデザイン哲学です。

その思いを、このULTEGRA 6770のデザインを通して感じ取っていただきたいと思っています。



## 2012年の取り組み .....

### ロードバイク市場の拡大

初めてロードバイクを手にするライダーにしっかりとした自転車を提供することは大切なことだと考えています。

2012年は、中低価格帯のシステムコンポーネントであっても、フィットネス、ツーリング、そしてレースなどライダーの好みのスタイルに対応できるよう、変速レバーの仕様やブレーキ、ギアなども含めバリエーション豊かに展開しました。

これからもシマノは、さらに自転車への愛着をもっていただき、サイクリングの楽しさを提供するシステムコンポーネントの開発にも力を注いでいきます。

## 2013年以降の取り組み .....

### マウンテンバイクのさらなる多様化に対応

アメリカが発祥のマウンテンバイクは、1980年代の生まれと歴史は浅いものの、めざましい発展をとげてきました。ダウンヒルレース、クロスカントリーレースなどの競技から、オールマウンテン、ツーリング(ヨーロッパではこれをトレッキングと呼んでいます)まで多様な楽しみ方があり、さまざまな車種が生まれました。また、走破性の向上やライダーの要求から、車輪のサイズにも変化が見られるようになりました。

シマノでは、上級モデルからエントリーモデルに至るまでそれぞれの乗り方にマッチするシステムコンポーネントをみなさまにお届けしてまいります。

## 製品紹介

### STELLA SW

ソルトウォーター専用スピニングリールのフラッグシップモデル、STELLA SWが、「強さ」に徹底的にこだわりフルモデルチェンジしました。STELLA SWの使用環境は過酷な海水域、荒波が打ち寄せる磯や激しく揺れる船上であるうえ、大物と対峙したときの強烈な魚の引きにも耐えなければなりません。ゆえに「耐久性」「ドラグ性能」「巻上力」「剛性」「防水性能」これらすべての基本性能を根底から見直しました。進化した8つのXフィーチャーをまとい、ファンの期待に応えます。



### ソルトルアー

近年増加傾向にあるソルトルアーフィッシング市場において、特に人気の高い釣種の一つであるシーバス(スズキ)フィッシング。エクسسンス サイレントアサシンシリーズは、大きさや泳ぎ方を餌となる小魚に近づけることはもちろん、シマノ独自のAR-C重心移動システム搭載によりキャスト性能を向上させ、従来のルアーでは届かなかったポイントまで攻めることを可能にしています。釣果アップに貢献する遠投性能と泳ぎの良さが多くのお客様から高い評価を受けています。



### 賞の獲得

#### 欧州・豪州、2つの釣具ショーで ベスト・ブレイドライン賞/ベスト・ライン賞を受賞

2012年6月にパリで開催された欧州最大の釣具ショー“EFTTEX”と、8月に開催された豪州唯一の釣具ショー“AFTA”において、世界中で“PowerPro”の名前で展開されている釣用PEライン(超高分子量ポリエチレン素材の釣用糸)の新製品“Bite Motion”がブレイドライン部門(EFTTEX)、ライン部門(AFTA)でそれぞれベストブレイドライン賞/ベスト・ライン賞を受賞を受賞しました。

欧州においては同部門で2011年に受賞した同じPEラインの“Super 8 Slick”に続き2年連続の受賞となりました。



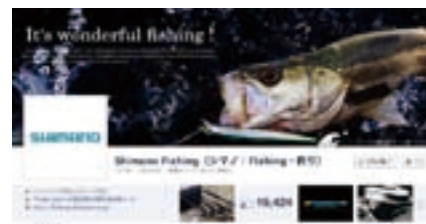
### 2012年の取り組み

#### Facebookにオフィシャルサイトを開設

シマノは、生活者と双方向のコミュニケーションを取ることで、より大勢の人々の共感を醸成し、ブランド価値を高め、人々から愛される売り方を追求することを狙いに、Facebookを開設しました。今後も、「It's wonderful fishing」をファンとの合言葉に、より一層人々から愛されるブランドを目指します。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.facebook.com/fishing.shimano>



### 2013年以降の取り組み

#### カワハギ市場の開拓

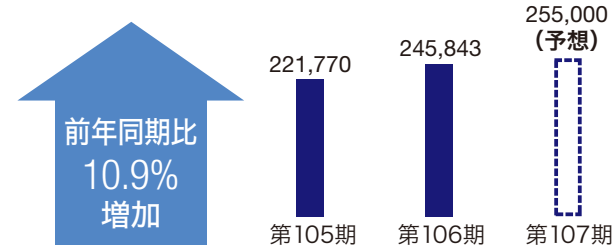
従来から、江戸前の船釣りの代表格として人気のカワハギ釣り。このカワハギ釣りを約10年前に競技としてとらえ、ルールを策定・浸透させ、日本最大の船釣り市場である関東圏において成長させたのは、他社でした。シマノもカワハギ専用タックルを発売しているものの、大多数のファンの心をつかんではいませんでした。そこで、2012年の夏から秋にかけてカワハギ釣りに最も求められる軽さと感度をテーマに、デザインと機能性を追求したロッド4本とリール4機種を「ステファアーノ」シリーズとして発売しました。驚きの軽さとタックルバランスを武器に、熱いカワハギファンの心をつかみ始めています。プロモーションでは、カワハギタックルのみを集めた専用カタログの発行を皮切りに、2年間休止していた「シマノカワハギグランプリ」を「ステファアーノグランプリ」として復活させたほか、インストラクターの飯田純男氏

を隊長とする「チームステファアーノ」を結成したり、カワハギ釣りに新たな付加価値を提案する「ステファアーノデカハギダービー」をWEB上で開催したりなど、さまざまな取り組みを行ってきました。

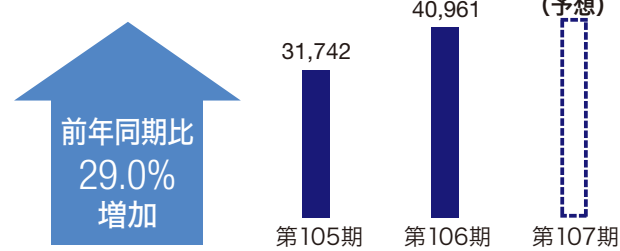
2013年も、「ステファアーノグランプリ」「ステファアーノデカハギダービー」をさらに盛り上げるのはもちろん、TV・雑誌などの媒体を活用して「ステファアーノ」の人気を定着させ、カワハギ市場においてリーディングメーカーになるべく突き進んでいきます。



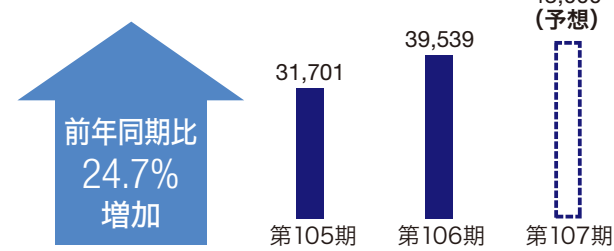
連結売上高 (単位: 百万円)



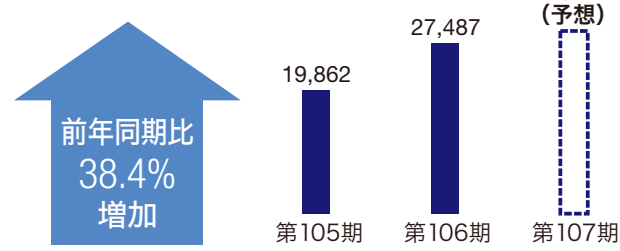
連結営業利益 (単位: 百万円)



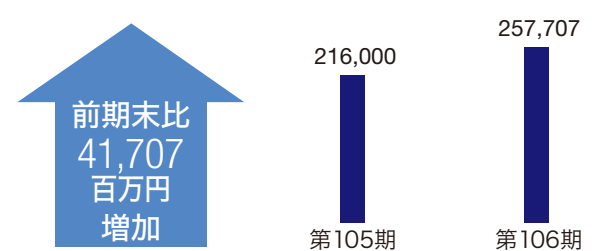
連結経常利益 (単位: 百万円)



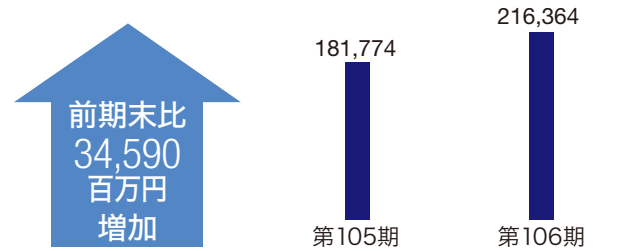
連結当期純利益 (単位: 百万円)



連結総資産 (単位: 百万円)



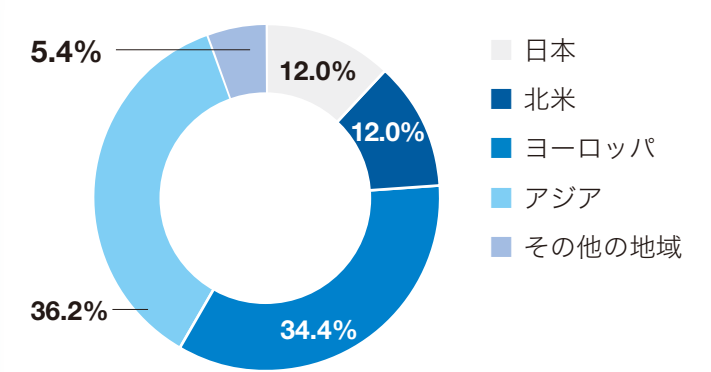
連結純資産 (単位: 百万円)



■ 地域別売上高の状況 (単位: 百万円)

	第105期	第106期
日本	27,782	<b>29,569</b>
北米	26,093	<b>29,454</b>
ヨーロッパ	80,513	<b>84,643</b>
アジア	78,081	<b>88,991</b>
その他の地域	9,299	<b>13,184</b>

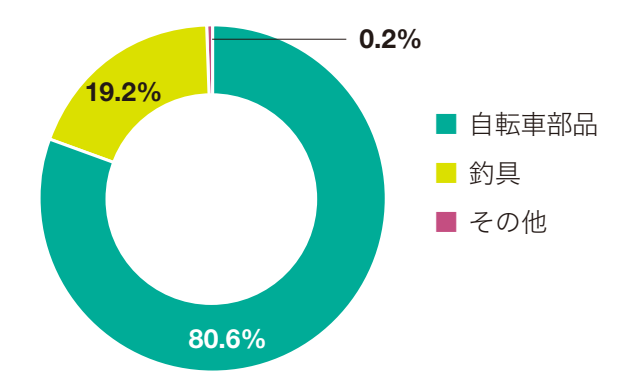
地域別売上高比率 (第106期)



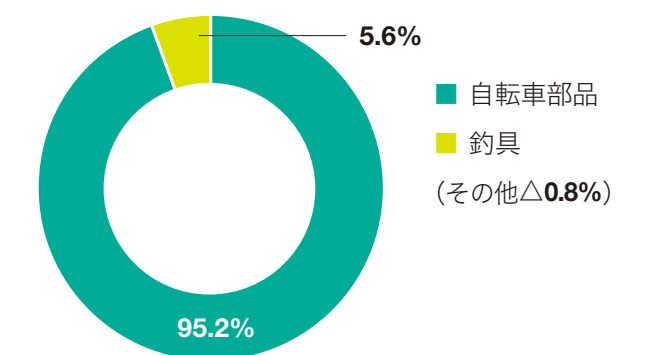
■ セグメント別の売上高と営業利益の状況

第106期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業利益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	<b>198,190</b>	11.8%	<b>39,012</b>	30.2%
釣具	<b>47,234</b>	7.6%	<b>2,274</b>	6.4%
その他	<b>419</b>	△27.6%	<b>△326</b>	—%

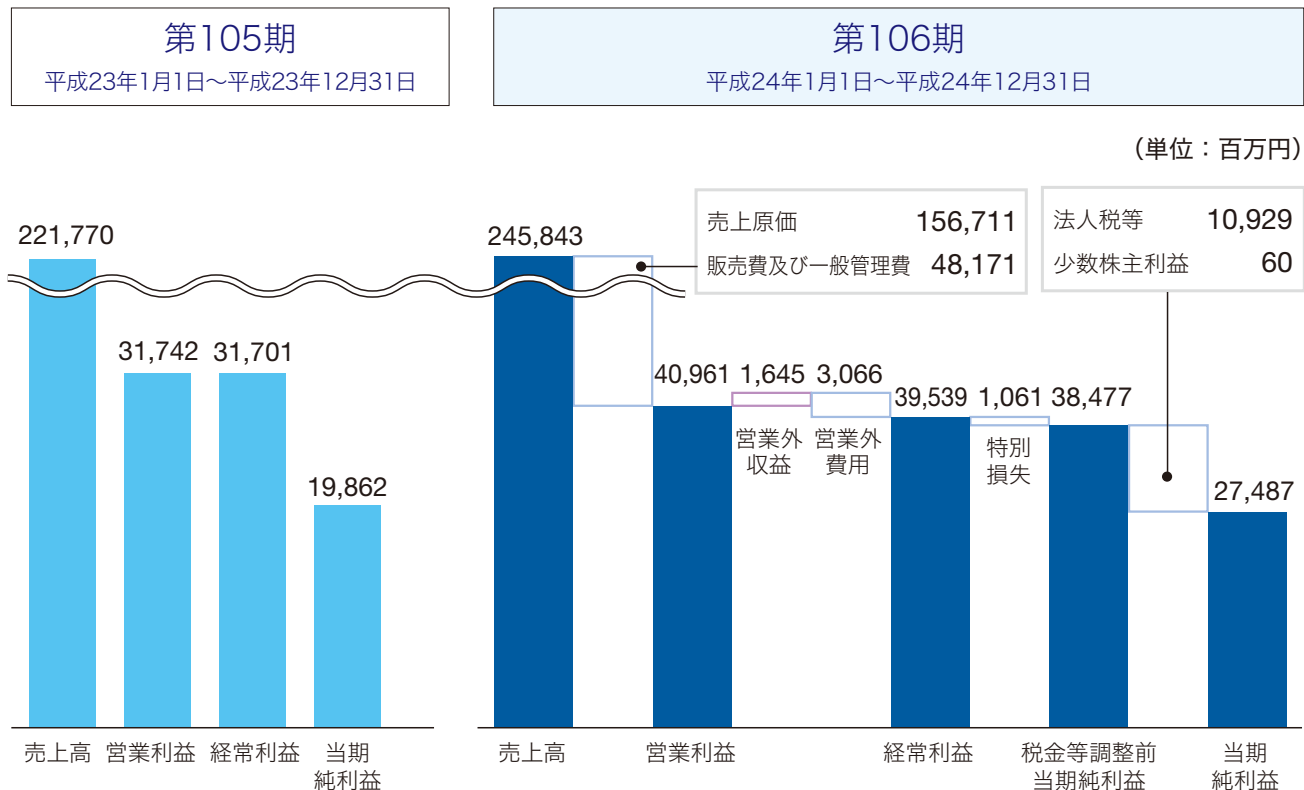
セグメント別の売上高比率 (第106期)



セグメント別の営業利益比率 (第106期)



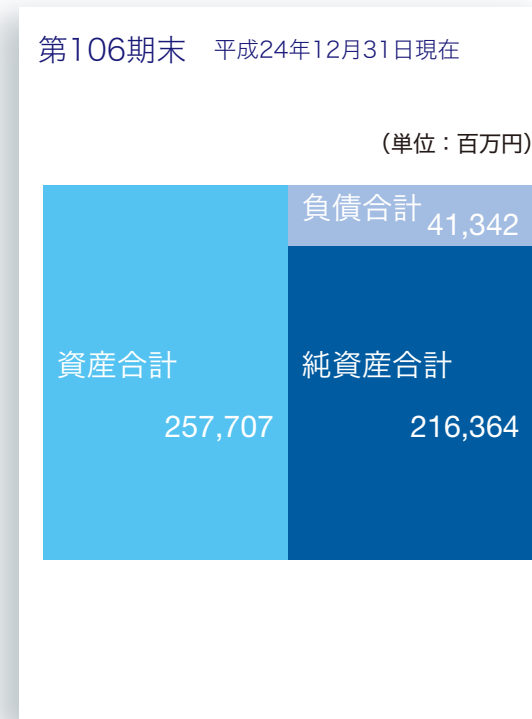
■ 連結損益計算書 (要約)



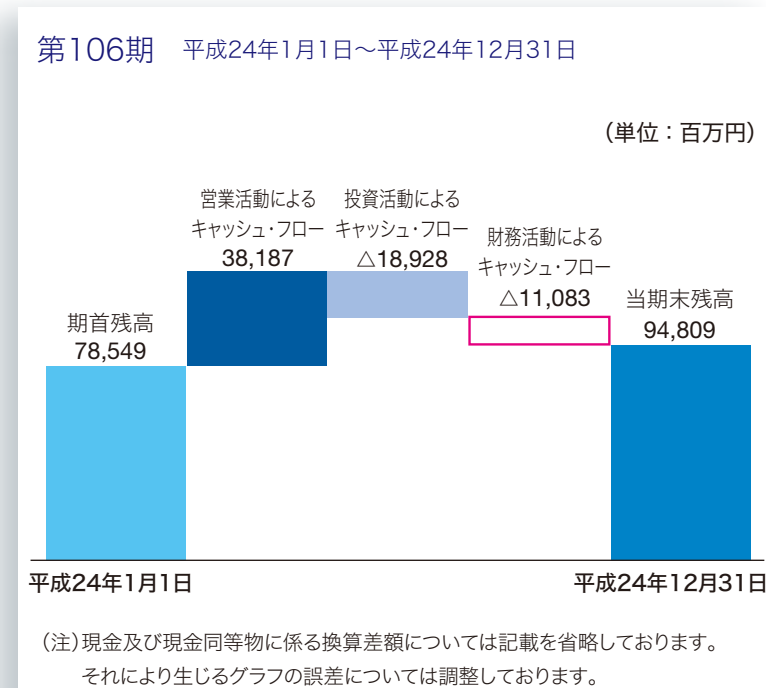
第107期予想 (連結)

	業績予想		セグメント別売上高予想	
売上高	2,550 億円	前年同期比 3.7%増	自転車部品	2,066 億円 前年同期比 4.2%増
経常利益	430 億円	前年同期比 8.8%増	釣具	480 億円 前年同期比 1.6%増
当期純利益	295 億円	前年同期比 7.3%増	その他	4 億円 前年同期比 4.6%減

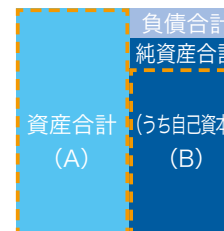
■ 連結貸借対照表 (要約)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



自己資本比率



自己資本比率(%) =  
 自己資本(B) ÷ 総資産(A) × 100  
 なお、自己資本は純資産から少数株  
 主持分を差し引いた金額です。

	第105期	第106期
自己資本比率	83.9%	83.7%

自己資本比率は、総資産に占める自己資本の割合を示し、自己資本比率が高いほど資本構成が安定しており経営の安全度が高いことを示します。当社の自己資本比率は83.7%と高い水準を維持しています。

自己資本比率を計算する際の自己資本は、株主から出資された出資金、剰余金、準備金、自己株式等から構成されています。

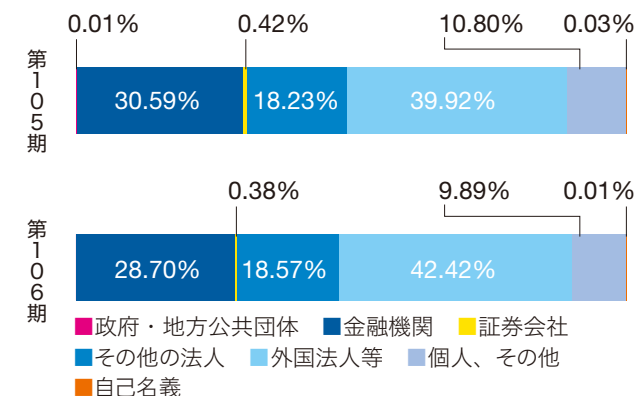
- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式総数 92,720,000株
- 株主数 6,957名
- 単元株式数 100株

大株主(上位10名)

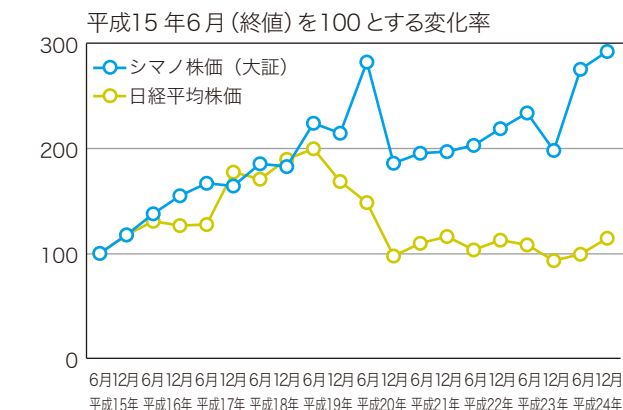
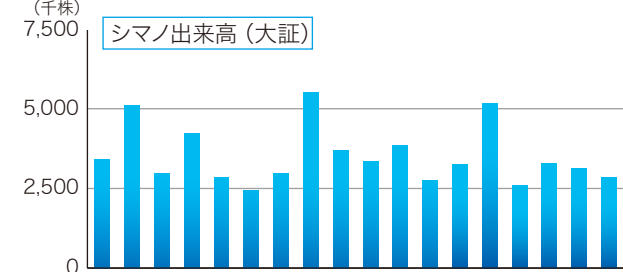
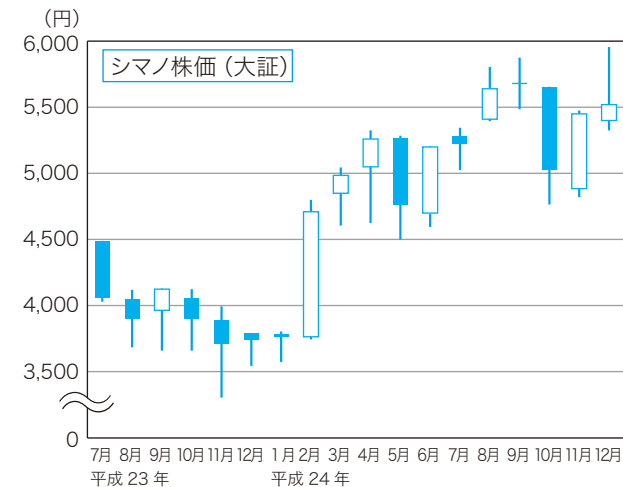
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	10,499	11.33
湊興産株式会社	7,400	7.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,096	4.42
太陽工業株式会社	4,040	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,554	3.83
日本生命保険相互会社	2,623	2.83
CBNY-CHARLES SCHWAB FBO CUSTOMER	2,618	2.82
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	2,179	2.35
株式会社スリーエス	2,171	2.34
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,066	2.23

(注)持株比率は自己株式(13,134株)を控除して計算しております。

構成比率



株価チャート



社名 株式会社シマノ  
 英文社名 SHIMANO INC.  
 創業年月 大正10年(1921年)2月  
 設立年月 昭和15年(1940年)1月  
 資本金 35,613百万円  
 従業員数 1,155名  
 事業内容 自転車部品、釣具、冷間鍛造品およびロウイング関連用品等の製造販売  
 本社 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地  
 URL www.shimano.com

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	津崎 祥博
代表取締役専務取締役	老 健	取締役	豊嶋 敬
代表取締役専務取締役	角谷 景司	取締役	人見 康弘
代表取締役専務取締役	角谷 景司	取締役	チア チン セン
常務取締役	渡会 悦義	取締役	松井 浩
常務取締役	和田 伸司	社外取締役	一條 和生
常務取締役	湯浅 哲	常勤監査役	谷野 俊典
取締役	平田 義弘	常勤監査役	島津 孝一
取締役	勝岡 秀夫	社外監査役	辻中 榮世
取締役	島野 泰三	社外監査役	松本 五平
取締役	樽谷 潔		

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 3月下旬に開催いたします。  
 基準日 期末配当金 毎年12月31日  
 中間配当金 毎年6月30日  
 単元株式数 100株  
 公告方法 電子公告  
 当社のホームページに掲載いたします。  
 (http://corporate.shimano.com/financial/)  
 ただし、やむを得ない事由によっては電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先 ☎ 0120-782-031  
 ホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html  
 証券コード 7309